

## 第1回宇宙科学・探査部会 議事要旨

1. 日時：平成25年3月26日（火） 15：00－17：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井部会長、薬師寺部会長代理、小野田委員、櫻井委員、田近委員、永原委員、山川委員、山崎委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、國友宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

冒頭、委員紹介の後、松井部会長より、部会長代理として薬師寺委員が指名された。

(1) 内閣府における新たな宇宙開発利用の推進体制について  
事務局から資料3に基づいて説明を行った。

(2) 新たな宇宙基本計画について  
事務局から資料4に基づいて説明を行った。

(3) 我が国の宇宙科学・探査を巡る状況について

(4) 宇宙科学・探査部会の今後の検討の進め方について

上記の議事について、事務局から資料2、5、6に基づいて説明したところ、以下のような意見があり、資料6「宇宙科学・探査部会の今後の検討の進め方（案）」については、部会として了承された。

- ・ 概算要求の時期があるので、「一定規模の資金」の検討については時間的に優先順位が高い。
- ・ 小規模でアイデアを活かしボトムアップで行う科学探査と大規模でトップダウンで行う宇宙探査とのバランスが重要。
- ・ 新たな宇宙基本計画が策定された際に出された総理指示において、予算の重点化など最適な資源配分を行うための検討を行い、必要な措置を講じることとされているとともに、JAXAの中期目標・中期計画は宇宙基本計画に基づくこととされていることは、非常に重要であり、本部会として、これを踏まえ、検討を進める必要がある。
- ・ 当部会は、各学会の会長が参加しており、コミュニティーの意見をよく理解した上でいろいろな決定を行っていくことができる。
- ・ 長期的なビジョンを当部会でとりあげることが重要。
- ・ 宇宙科学は、宇宙の開発や利用を先導してきたところがあり、それらを踏まえて、幅広く議論することが必要。

以上